

東アジア文化都市
— Culture City of East Asia —
2025-鎌倉

開館時間 9:00～16:30〈入館は16:00まで〉

休館日 月曜日

11月4日(火)、18日(火)、19日(水)、25日(火)

※11月3日(月・文化の日)、

24日(月・振替休日)は開館

観覧料 〈一般〉1,000(900)円

〈小・中学生〉500(400)円

住所 〒248-0005

神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-1

〔鶴岡八幡宮境内〕

交通案内 JR鎌倉駅、江ノ電鎌倉駅から徒歩12分。

京急バス「大学前」、江ノ電バス

「鎌倉八幡宮前」から徒歩3分。

T E L 0467-22-0753

F A X 0467-23-5953

e-mail kokuhoukan@city.kamakura.kanagawa.jp

※駐車場がありませんので、車で来館の際は、鶴岡八幡宮近隣の
民間の駐車場をご利用ください。

※本料金で彫刻展示「鎌倉の仏像」もご覧いただけます。

※()内は20名以上団体料金 ※障がい者手帳の交付を受けた
方と付き添い1名、鎌倉市に通学している小学生～大学生
及び市内在住の方は観覧料が無料となりますので、受付に
身分証・手帳・学生証・カード等を提示してください。

鎌倉と宋元・高麗の
仏教絵画の交響

2025 10.25(土)

— 12.14(日)

前期:10月25日(土)～11月16日(日)

後期:11月20日(木)～12月14日(日)

※11月17日(月)～19日(水)に展示替えを行います。

鎌倉国宝館

KAMAKURA KOKUHOUKAN MUSEUM

美
麗
な
ほ
と
け
た
ち
の
集
い



市指定 宝冠釈迦如来坐像(建長寺)

東
ア
ジ
ア
に
き
ら
め
く、

中世の海域交流の要所として栄えた鎌倉地域には、中国大陸から禅文化が直接もたらされ、あわせて数多くの精緻な仏教絵画が運ばれてきました。その中には中国の宋や元の時代に描かれた仏画や、朝鮮半島で制作された高麗仏画もふくまれていました。

本展では、宋元・高麗、そして鎌倉の東アジアの三つの地域で制作された仏教絵画を一堂に展覧します。海に向こうの仏教文化にもっとも近くで触れることのできた当地では、いかにしてそれらを受け入れ、はぐくみ、禅の教えとともに組み込んでいったのか。三つの地域の絵画の制作背景とその交響に迫ります。

扇影 衣香

鎌倉と宋元・高麗の仏教絵画の交響



県指定 五百羅漢図(円覚寺)



重文 蘭溪道隆経行像(建長寺)



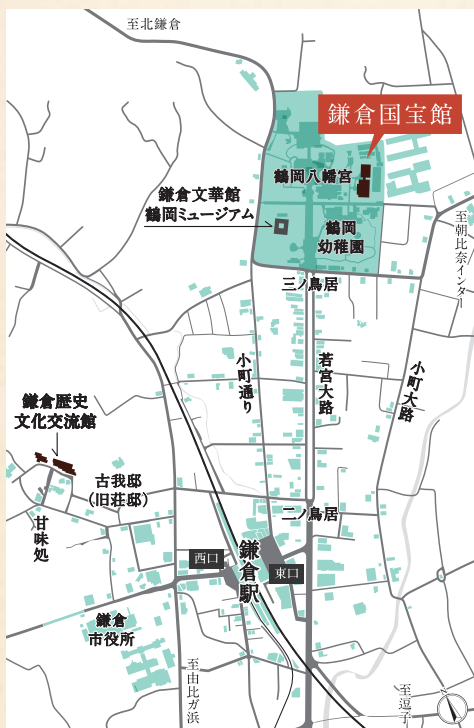
重文 被帽地藏菩薩像(円覚寺)



重文 釈迦三尊像(建長寺)



重文 釈迦三尊像(一蓮寺)



関連イベント

円覚寺仏涅槃図特別公開

宝物風入りに合わせ、
鎌倉地域最大の仏涅槃図を特別に公開します。

日 時 / 11月1日(土)～3日(月・祝) 9:00～16:00

※最終日は15:00まで

場 所 / 円覚寺(鎌倉市山ノ内409)

料 金 / 無料(円覚寺への入山料がかかります)

*期間中に学芸員による作品解説を実施(詳細は当館HP)

講演会 絵から見た鎌倉と東アジア世界

肖像画をはじめとする鎌倉地域伝来の
仏画や五百羅漢図についてお話しいたします。

日 時 / 11月29日(土) 10:00～12:00

場 所 / 建長寺 応真閣(鎌倉市山ノ内8)

講 師 / 井手誠之輔氏(九州大学名誉教授)

定 員 / 120名予定

料 金 / 無料(建長寺への入山料がかかります)

参加方法 / e-kanagawaにて事前申込制(先着順)

【問い合わせ先】鎌倉国宝館

※いずれのイベントも詳細は当館HPをご確認ください

ギャラリートーク

日 時 / 10月25日(土)

11月15日(土)

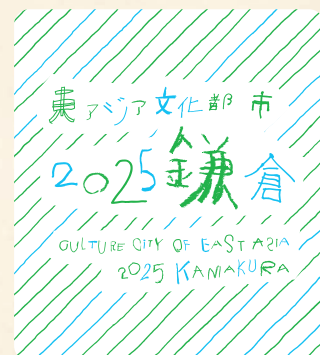
12月6日(土)

時 間 / 各日 14:00～

場 所 / 鎌倉国宝館

*参加無料(要観覧料)

*申込不要



鎌倉国宝館

住所 / 〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-1[鶴岡八幡宮境内] HP / <https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kokuhoukan/>

T E L / 0467-22-0753 F A X / 0467-23-5953 e-mail / kokuhoukan@city.kamakura.kanagawa.jp

